

いじめ防止基本方針

石巻市立蛇田小学校

本校では、文部科学省で定める「いじめの防止のための基本的な方針」の定義に沿い、いじめが誰にでも起こりうるものであることを認識して指導に当たる。いじめの未然防止と早期発見に努め、認知した場合には、解決に向けて速やかに組織的な取組を行う。

いじめに対する基本的認識

「いじめ」とは、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が新進の苦痛を感じているものを言う。」と定義する。

1 いじめの内容

- ひやかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- 金品をたかられる。
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- 上記の他、自分の心や体に苦痛を感じているもの。

2 いじめを防止するための取組

(1) 未然防止 ～児童一人一人が安心して学校生活をおくることができる環境づくり～

○基本的な考え方

児童一人一人が安心して学校生活を送ることができる学校の環境をつくる。本校は、そのために、全教職員で生徒指導の三機能（自己存在感・共感的な人間関係・自己決定）を生かした授業づくり、集団づくり、学校づくりを推進する。

○いじめ防止のための具体的措置

- ・ いじめについての共通理解を図るための職員研修の実施。
- ・ 児童会活動や学級活動などによるいじめを許さない雰囲気づくり。
- ・ 学校の教育活動全体を通じた道徳教育や人権教育の充実。
- ・ 児童相互が相手の気持ちを考えた関わるスキルを身に付けるための系統的な学習の実施。
- ・ 児童の自己有用感や自己肯定感を高めるための教育活動の実施。
- ・ 児童が学びの楽しさを味わえる協同学習を中心とした授業づくりの推進。
- ・ 教師・児童ともに、相手を尊重する意識を高めるため「さん」を付けて名前を呼ぶことの習慣化。

(2) 早期発見 ～児童が示す小さな危険信号を見逃さない～

○基本的な考え方

いじめは、大人の目に付きにくい時間や場所で行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりするなど、大人が気づきにくく判断しにくい形で行われていることを認識し、ささいな兆候であっても見逃さず、いじめを積極的に認知する。

○具体的な対応

- ・授業、休み時間、給食時間、放課後の時間等の児童の様子に目を配る。
- ・複数の目で児童を見守り、変わった様子が見られた場合は早急に情報の共有を図り、組織的に対応する。
- ・「学校生活についてのアンケート」を月1回、「生活についてのアンケート」を学期1回実施し、いじめの実態を把握する。
- ・アンケートや面談等における児童からの相談に対しては、担任や学年主任等が迅速に対応する。
- ・児童や保護者がいじめに関して教職員に相談しやすい雰囲気づくりに努める。

(3) いじめへの対処 ～組織的な対応と解消・再発防止の取組～

○基本的な考え方

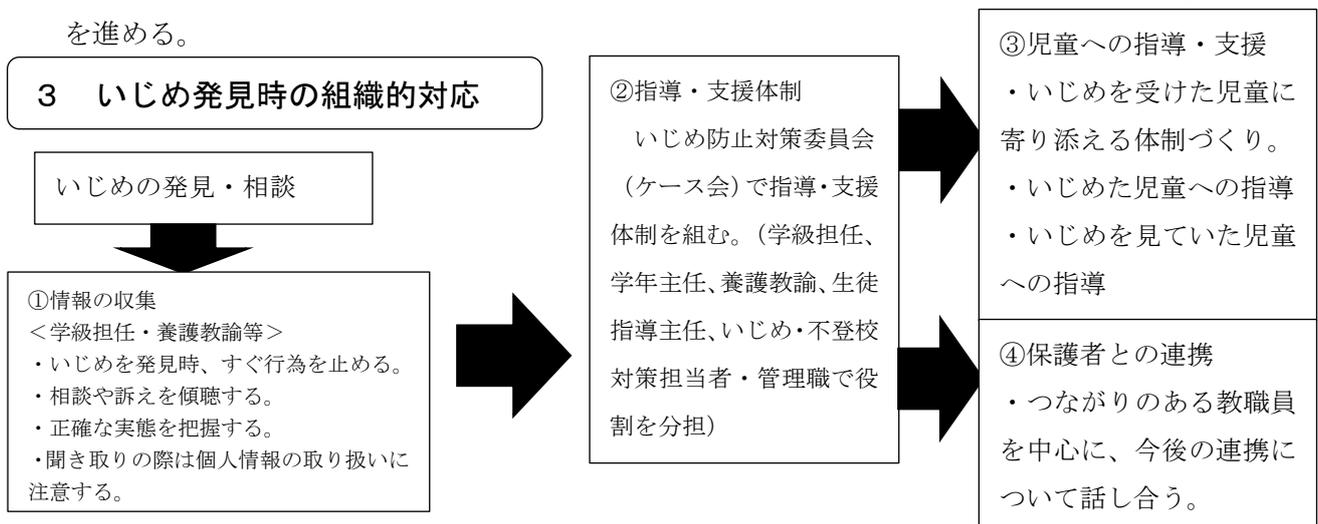
いじめの発見、相談を受けた場合には、いじめ・不登校担当並びに生徒指導主任に報告し、組織的に対応する。被害児童を守るとともに、教育的配慮の下、毅然とした態度で加害児童を指導する。

○具体的な対応

- ・遊びや悪ふざけなど、いじめと疑われる行為を発見した場合、その場で行為を止めさせる。
- ・いじめを受けた児童には、まず担任等が本人の訴えを傾聴する。その際は、児童の個人情報の取り扱い等、プライバシーに十分に留意して以後の対応を行う。
- ・家庭訪問や電話等により、速やかに正確に保護者に事実関係を伝える。
- ・いじめに関わった児童から事情を個別に聞き取り、いじめの事実確認を確実・正確に行う。
- ・内容によっては、関係機関と連携して適切に対応する。

○再発防止

- ・受容的な態度で、いじめたとされる児童から不満等の訴えを聴く。その上で、自らの行為の責任を自覚させるように促すとともに、いじめられている児童のつらさを理解させる。
- ・つながりのある教職員を中心に、家庭と今後の連携について確認する。
- ・いじめを見ていた児童に対しても、自分の問題として捉えさせ、どう対応したらよいか考えさせる。
- ・全ての児童が、集団の一員として、互いを尊重し、認め合う人間関係を構築できるような集団づくりを進める。



〈資料〉 いじめ発見のためのチェックシート（保護者用）

	チェック項目	大丈夫	心配
朝の様子	朝、なかなか起きてこない。		
	疲れた表情である。またはぼんやりとしていたりふさぎこんでいたりする。		
	いつもと違って、朝食を食べようとししない。		
	登校時間が近づくと、体調不良を訴える。		
	いつも特定の友達が迎えに来る。		
登下校	友達の荷物を持たされている。		
	一人で登校（下校）するようになる。		
	遠回りして登校（下校）するようになる。		
	途中で家に戻ってくる。		
帰宅時	理由のはっきりしない衣服の汚れや破れがある。		
	理由のはっきりしないすり傷やあざがある。		
	すぐに自分の部屋に駆け込み、なかなか出てこない。		
	帰宅時刻が遅くなる。		
	学校の話をしなくなる。		
	外出したがる。		
友人関係	理由の不明な言葉遣いが不自然でいていねいである。		
	友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいた友達と遊ばなくなったりする。		
	友達から頻繁に電話やメールがあり、それを気にする。		
	遊んでいるとき、友達から横柄な態度をとられている。またはとっている。		
	いじめの話をするとう強く否定する。		
家庭の様子	親と視線を合わせない。		
	家族と話をしなくなる。		
	親に反抗したり、兄弟姉妹やペットに八つ当たりしたりする。		
	お金の使い方が荒くなったり、無断で持ち出したりするようになる。		
	部屋に閉じこもりがちになる。		
	部屋にある持ち物がなくなっていく。		
	学習への意欲とともに成績が下がってきた。		
	食欲がなくなってきた。		
	ため息をつくことが多い。		
なかなか寝付けない。			